

第 **51** 期

# 年次報告書

2020年4月1日から2021年3月31日まで



紙使用包材の  
ラインナップ拡大  
詳しくは裏表紙をご覧ください。



## 中期 ビジョン

### 中期経営計画における

# 基本戦略

当社グループでは、経営理念に則した『良品づくり』の

さらなるレベルアップを実現するために

**4つの基本戦略** をもとに取り組んでまいります。

## 中期経営計画における数値目標

中期経営計画の数値目標として、2025年3月期において売上高550億円、経常利益率3.3%をめざしてまいります。

数値目標  
〔第55期〕  
(2025年3月期)

売上高 **550** 億円

経常  
利益率 **3.3**%

2022年3月期の期首から当該会計基準を適用し、一部の取引の収益を純額で認識することとなるため、適用後の数値目標へ修正いたしました。

## 販売戦略

良品をお届けするために必要な「製造力」「開発力」「営業力」を磨き、安全・安心で美味しい商品をより多くのお客様に安定的に提供する体制を強化してまいります。

## コスト戦略

良品を継続的にお届けするために、原材料面、労務管理面、販売管理面を中心に現場レベルでの緻密な管理を行い、中長期的な視点でのコスト削減に取り組んでまいります。

## 人財戦略

多様な働き方や働き手に対応した職場環境の整備に取り組み、健康で働きやすく能力を發揮し続けられる職場づくりと、研修制度の充実などスキルの向上を進めてまいります。

## 環境戦略

フードロス削減、石油製プラスチックの代替品やエコ素材を使用した包装資材の積極利用を推進するとともに、廃棄物総量の削減とゴミの再資源化に取り組んでまいります。

## 【経営理念】当社グループがめざす姿

『おいしさと楽しさ』をモットーに、消費者ニーズに応える商品づくりを通じ、健康で豊かな食文化の向上に貢献し、顧客、取引先、社会に信頼され、そして従業員、株主、企業それぞれが充足することをめざしてまいります。

## 社会の活力を支える企業として

私たちシノプフーズは、お客様の視点に立った「安全・安心な商品」をお届けすることはもちろん、コンプライアンス、CSR(企業の社会的責任・社会からの信頼)にもとづいた企業活動を実践し、さらなる成長のための行動力を磨き、変化に対して積極的に挑戦してまいります。

## さらなるレベルアップの実現へ向け

シノプフーズは、『おいしさと楽しさ』をモットーに、設立以来50年以上、「食」にかかわる企業の使命として、お客様のニーズや社会のスタイルに合わせた商品を提供してまいりました。

第51期は中期経営計画【「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画】の初年度であり、商品づくりを通じ、健康で豊かな食文化の向上に貢献し、顧客、取引先、社会に信頼され、そして従業員、株主、企業それぞれが充足することをめざし、取り組んでまいりました。

今後も「安全・安心な商品」をお届けすることはもちろん、コンプライアンス、CSR（企業の社会的責任・社会からの信頼）にもとづいた企業活動を実践するほか、環境負荷軽減や持続可能な社会づくりに貢献し、さらなる成長のための行動力を磨き、変化に対して積極的に挑戦してまいります。



代表取締役社長  
松本崇志

### 営業の概況

当社グループは、「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画をテーマとした中期経営計画(2021年3月期～2025年3月期)を策定し、4つの基本戦略、「販売戦略」、「コスト戦略」、「人財戦略」、「環境戦略」に基づき目標達成に向け取り組んでおります。

販売面では、新たにカフェチェーンとの取引開始や、冷凍おせちの製造といった冷凍食品事業への新規参入など業容拡大に努めました。「内製化」「良品づくり」にこだわりつつ、新しい生活様式による消費者需要の変化に応えるべく、引き続きロングライフ商品や惣菜の開発に取り組んでまいります。

生産面では、食に携わる企業としての責任を全うするため、従来からの衛生管理に加え、政府のガイドラインに基づいた新型コロナウイルス感染症防止対策に取り組む、お客様へ

の安全・安心な商品の提供に注力いたしました。

コスト面では、購買部による主要食材の調達方法の見直しを継続して行うことに加え、売上高減少下における労働時間の短縮、機械化などによる生産性の向上、各工場間での横断的な製造経費の見直しなど徹底した経費削減に取り組みました。

人財面では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための社内ルールを周知徹底し、従業員の健康管理に努めつつ、テレビ会議システムを利用した職種別の会議体や勉強会による組織力の強化や、資格取得の推進によるスキルの向上と均一化に取り組みました。

環境面では、弁当の容器にバイオマスプラスチック25%含有素材を使用し、サンドイッチでは紙使用包材のテスト販売など環境負荷の軽減に取り組みました。

### 売上高

497億7千9百万円

前期比5.2%減

### 営業利益

10億9千7百万円

前期比12.9%減

### 経常利益

11億1千万円

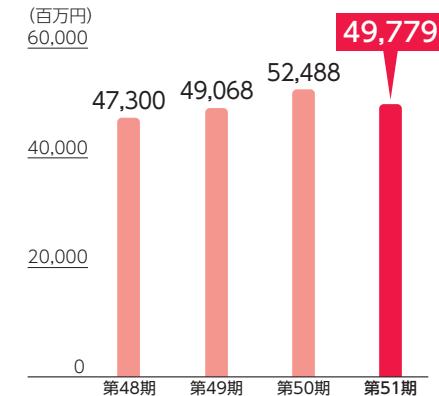
前期比12.2%減

### 親会社株主に帰属する当期純利益

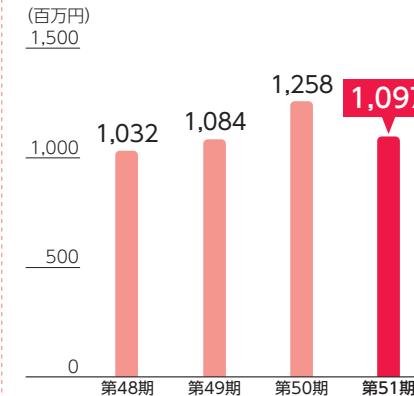
7億9千1百万円

前期比27.6%減

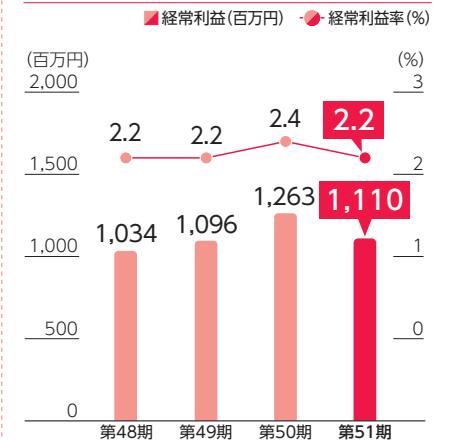
### 売上高



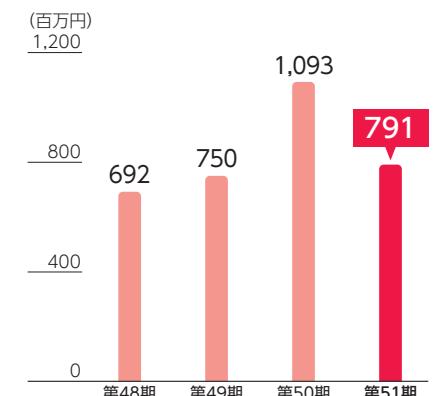
### 営業利益



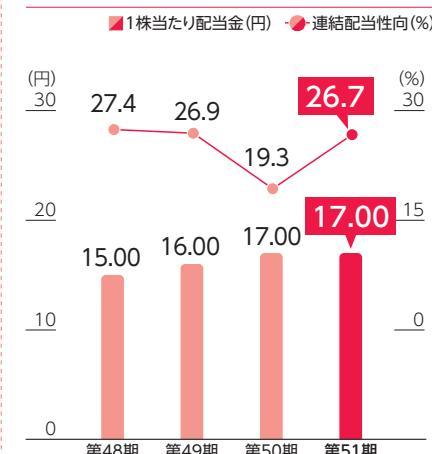
### 経常利益／経常利益率



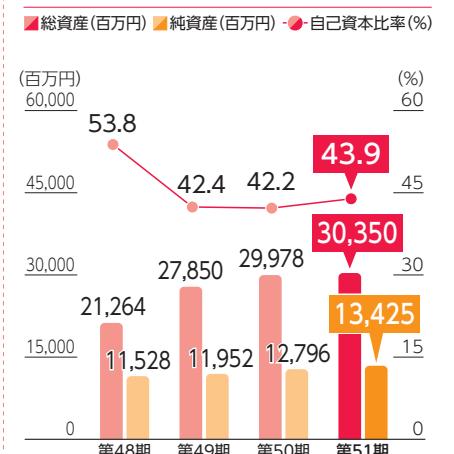
### 親会社株主に帰属する当期純利益



### 1株当たり配当金／連結配当性向

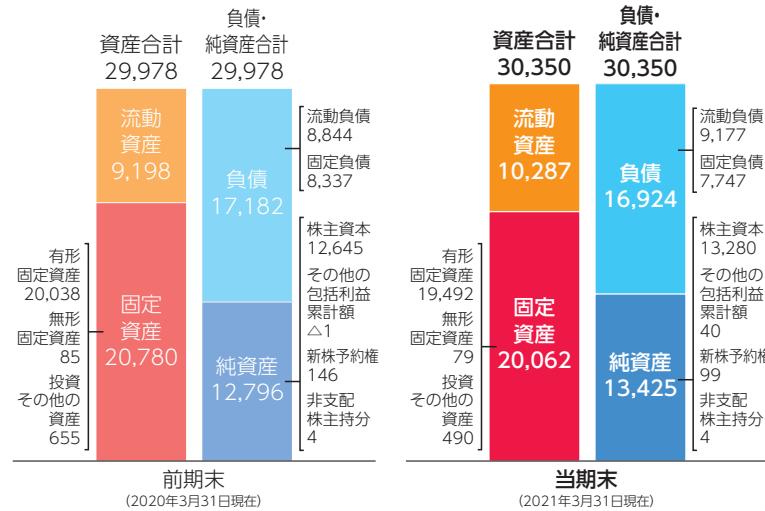


### 総資産／純資産／自己資本比率



●連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



▶資産合計

現金及び預金の増加を主因に前連結会計年度末と比較して3億7千2百万円増加し、303億5千万円となりました。

▶負債合計

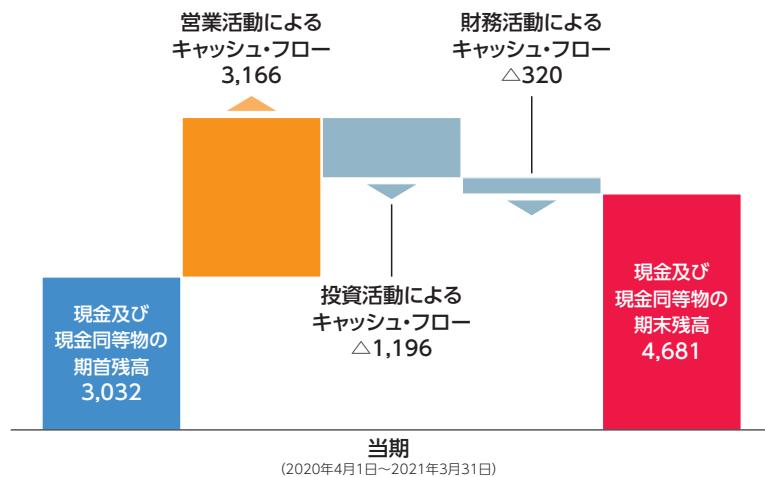
長期借入金の減少を主因に前連結会計年度末と比較して2億5千7百万円減少し、169億2千4百万円となりました。

▶純資産合計

親会社株主に帰属する当期純利益7億9千1百万円を計上する一方、配当金の支払2億1千7百万円等により前連結会計年度末と比較して6億2千9百万円増加し、134億2千5百万円となりました。

●連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



▶営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益	1,140
減価償却費	1,565
その他の資産の増減額	562
法人税等支払額	△347

▶投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△1,277
投資有価証券の売却による収入	95

▶財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額	△217
長期借入れによる収入	1,800
長期借入金の返済による支出	△1,901

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●会社概要

(2021年3月31日現在)

社名	シノブフーズ株式会社 SHINOBU FOODS PRODUCTS CO.,LTD.
設立	1971年5月1日
資本金	4,693,422,000円
従業員数	509名
事業内容	米飯加工食品(弁当、おにぎり、寿司等)・調理パン(サンドイッチ等)・惣菜等の製造販売

●役員

(2021年3月31日現在)

代表取締役社長	松本 崇志	監査役(社外)	野村 祥子
代表取締役	西村 寿清	監査役(社外)	南方 得男
取締役	隅田 真年	執行役員	岡田 孝司
取締役	清水 秀輝	執行役員	田中 謙治
取締役	長尾 正史	執行役員	東 伸一郎
取締役(社外)	加藤 道彦	執行役員	花谷 由紀
取締役(社外)	中野 由里	執行役員	杉山 直博
常勤監査役	大塚 一樹	執行役員	吉井 淳

●株主メモ

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵送物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 0120-782-031(フリーダイヤル) (受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く))  
インターネットホームページURL <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>  
(よくあるご質問(FAQ)) [https://faq-agency.smtb.jp/?site\\_domain=personal](https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal)

●株式の状況

(2021年3月31日現在)

発行可能株式総数	45,656,000株
発行済株式総数	13,500,000株
単元株式数	100株
株主数	7,829名

●ネットワーク

(2021年3月31日現在)

本社	大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号 TEL(06)6477-0113(代表)
工場	●千葉 千葉県八千代市上高野1734番1 ●名古屋 愛知県弥富市四郎兵衛1丁目128番地 ●大阪 大阪市西淀川区福町1丁目9番16号 ●関西 大阪市西淀川区御幣島6丁目14番36号 ●京滋 滋賀県栗東市六地藏1163 ●岡山 岡山県総社市中原字巽原88番の2 ●広島 広島県尾道市美ノ郷町本郷20001番地65 ●四国 香川県観音寺市柞田町字千拓793番7号 ●物流センター 大阪市西淀川区福町1丁目9番17号 ●東京事業所 東京都大田区蒲田5丁目42番6号 蒲田ハイツ201号 ●子会社 ●(株)エス・エフ・ディー 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号 ●(株)マイツペーカー 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号

**【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】**  
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座をご利用でない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、左記「よくあるご質問(FAQ)」サイトで確認いただけます。

## 環境配慮型容器への取り組み拡大中!



環境問題への取り組みのひとつとして、2021年3月より、サンドイッチのナショナルブランド「エピーム」シリーズの一部アイテムにて、素材の50%以上に紙を使用した包材での販売が開始し、7月より順次アイテムを拡大してまいります。

また、ボックスサンドにおいても、バイオマスプラスチック25%含有容器への切り替えを進めています。



### 「真菜ごころ」バイオマスプラスチック容器拡大中

「真菜ごころ」シリーズへのバイオマスプラスチック容器の採用が順次拡大中です。2021年6月時点で19アイテム中11アイテムがバイオマスプラスチック容器となっています。

容器とあわせて、蓋へは使用済みペットボトルを素材としたリサイクル原料使用容器を使用しています。2021年6月時点で19アイテム中12アイテムに採用されています。



今後も各カテゴリにて、環境配慮型容器への取り組みを拡大してまいります。



シノブフーズ株式会社

〒555-0011 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号  
TEL (06) 6477-0113 (代表)  
<https://www.shinobufoods.co.jp/>



この報告書は、環境に配慮し、  
植物油インキを使用しています。